

# 令和3年度 学校評価報告

草加市立稲荷小学校  
(令和4年1月31日作成)

<b>1 学校教育目標</b> 自ら学び (自分の考えをもち、よりよく判断し、行動できる子) 心豊かに (互いのよさを認め合い、高め合える子) たくましく (心と体が健康で、笑顔と希望にあふれる子)	
<b>2 重点目標・努力目標</b> ・児童一人一人の学力の向上と自己肯定感・自己有用感の醸成 ・一人ひとりを大切にする生徒指導の充実(いじめ撲滅、不登校0、生活規律の確立) ・健康・体力づくりの充実(体育授業の充実) ・落ち着いた教育環境の整備充実(安心・安全な教育環境) ・地域に根ざした教育の推進(学校運営協議会の充実)	<b>3 前年度の成果と課題</b> 成果 ○ICT研修や校内研修を活用し、学校全体で学力の向上と自己肯定感・自己有用感の醸成に努めることができた。  課題 ●働き方改革により職員の負担軽減の見直しを行い、ワークライフバランスの改善を行っていく。

<b>4 評価表</b> ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	B	○児童の実態をふまえた学校経営方針について繰り返し共通理解を図り、教職員が協働して児童の自己肯定感・自己有用感の醸成に努め、一人ひとりを大切にした教育の具現化に努めた。 ●行事や会議、校務分掌を見直し、組織的に校務を行える体制を整える。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	B	○令和4年度の研究発表会に向けて、中学校と連携しながら、充実した研修を行うことができた。 ●校内研修の充実を図り、授業力・学力向上に向けた研修体制を構築する。
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	A	○登校後の健康観察、定期的な手洗いを徹底し、組織的な健康管理と感染防止に努めた。 ○危機管理マニュアルに基づく共通理解・共通行動の徹底を図った。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	B	○個人情報の取り扱いについて共通理解を図り、個人情報の適切な管理・保護に努めた。 ●複数の視点で適切な施設管理を行う。
	⑤地域との連携開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	A	○スクールパトロール隊等と連絡を取り合う機会を設け、児童の様子について情報共有を図った。 ○ホームページの充実を図った。
	⑥幼保小中を一貫した教育	・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり	B	○令和4年度の研究発表会に向けて、中学校と連携しながら、充実した研修を行うことができた。 ●計画的な交流を実現する。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>15年間を通じたカリキュラムの編成、実施</li> <li>教育計画の作成</li> <li>教育活動の評価</li> <li>目標、方針の周知</li> <li>授業時数の配当、確保</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行事や会議の精選を行い、負担軽減に取り組むことができた。</li> <li>●学校評価における児童及び保護者の声を教職員で共有し、具体的な改善を進めていく。</li> </ul>
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善</li> <li>評価、評定の工夫</li> <li>外部人材の活用</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習規律の見直しを図り、落ち着いて学習に取り組む児童が増えた。</li> <li>●校内研修の更なる充実を図り、学力向上に努める。</li> </ul>
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体計画の作成</li> <li>各教科との関連</li> <li>道徳的実践力の育成</li> <li>家庭、地域社会との連携</li> <li>いのちの教育の推進</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業により、道徳教育についての理解を深めた。</li> <li>○教育活動全体を通して、道徳的実践力の育成を図った。</li> </ul>
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>評価、評定の工夫</li> <li>各教科、道徳教育との関連</li> <li>中学校との連携</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○担任とALTが連携し、ICTを駆使しながら活気のある授業を展開することができた。</li> <li>●中学校英語との円滑な接続を図る。</li> </ul>
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>学級活動、学級経営</li> <li>学校行事</li> <li>児童会活動</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が主体的に活動する場を設定することで、望ましい人間関係の形成が図られた。</li> <li>●年間指導計画を見直し、クラブ活動をさらに充実させる。</li> </ul>
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>指導内容の充実</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>評価の工夫</li> <li>地域の人材・物的資源の活用</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校の特色を生かした学習活動を実施することができた。</li> <li>●年間指導計画を見直し、児童や地域の実態に沿った課題を設定する。</li> </ul>
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織的な生徒指導</li> <li>問題行動への対処</li> <li>教育相談、児童理解</li> <li>いじめ防止対策</li> <li>保護者、地域、諸機関との連携</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人ひとりを大切にする生徒指導を行い、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めた。</li> <li>●共通理解・共通行動の視点に立った、組織的な生徒指導体制の確立。</li> </ul>
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画の立案</li> <li>指導内容の充実</li> <li>中学校との連携</li> <li>啓発的経験の充実</li> <li>家庭、地域との連携強化</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別活動(3)や総合的な学習の時間を用いて、取り組むことができた。</li> <li>●系統的なキャリア教育を推進する。</li> </ul>
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の指導計画、支援計画</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>通常学級との交流</li> <li>諸機関との連携</li> <li>校内支援体制の整備</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童・保護者の気持ちに寄り添い、個別の指導を計画・実施し、一人一人を大切にする教育を推進した。</li> <li>●児童への指導・支援について、職員の共通理解・</li> </ul>
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画、支援計画の作成</li> <li>図書館補助員の活用</li> <li>諸機関との連携</li> <li>図書館の整備</li> <li>図書館利用の工夫</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○司書教諭を中心に、学校図書館や中央図書館サービスの活用を図った。</li> <li>○各学年、学校図書館を利用した学習に取り組んだ。また、読み聞かせを月に1回以上行った。</li> </ul>
	⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育計画の作成</li> <li>校内研修の充実</li> <li>ICT機器の積極的な活用</li> <li>情報モラル教育の推進</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業等で、ICT機器の積極的・有効的活用に努め、児童の学習意欲の向上に努めた。また、研修も定期的に行うことができた。</li> <li>○児童の情報モラルの意識を向上させるための指導に努めた。</li> </ul>
	⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体計画の策定</li> <li>各教科との関連</li> <li>人権感覚の育成</li> <li>校内研修の充実</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権週間の取組や道徳の授業を中心に、人権感覚を大切に授業作りを行うことができた。</li> <li>●各教科との関連をより意識した人権教育を推進する。</li> </ul>

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
Ⅲ 特色ある学校づくり	①学力の向上	・指導方法の工夫と改善	B	○基礎・基本の定着を目指し、校内研修と関連させ、毎週水曜日に算数マラソンを実施した。 ○校内研修の取組をもとに、基本的な授業展開を共有することで、学力向上に取り組むことができた。
	②働き方改革を柱とした業務改善	・時間外勤務削減 ・校務の精選	A	○業務改善が教育活動の充実につながるという働き方改革の目的や意義を共有して、取組を行った。 ○在校時間の削減を図ることができた。
	③教育環境の整備	・心潤う教育環境の充実	A	○年度当初、特別教室や準備室を中心に整理整頓、清掃を行い、児童が活動しやすく、心潤う教育環境になっている。 ○老朽化した箇所や危険箇所を計画的に修繕していただいた。

**5 総合評価** (学校関係者評価を含む)

- ・学校ホームページの充実を図り、学校だより等で児童の様子を伝えたりしたことで、学校評価「学校は、学校だより、ホームページ、メール等で積極的に情報公開(発信)をしている。」の項目で、保護者の96%が当てはまると答えている。
- ・手洗い、マスクの着用、毎日の検温・健康観察を徹底し、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めた。学校評価「学校は、子供たちの安全や健康に配慮している。」で、保護者の99%が当てはまると答えている。
- ・校内研修においては、見通しをもち計画的に行うことで充実した取組ができた。草加市学力・学習状況調査にむけて、朝自習の時間を2週間学習タイムにあて学力の向上に努めた。どの学年も熱心に取り組み、組織的に取り組むことができた。
- ・校内行事の精選、夏季休業日の会議の見直しに取り組み、負担軽減が行えた。また、管理職の声かけにより、平均在校時間を短縮することができた。
- ・学校関係者評価では、今年度も落ち着いて授業に取り組む児童の姿や、熱心な教員の指導も良いとの評価をいただいた。

**6 次年度の改善策**

- ・学力向上に関わる取組を全教職員で行い、共通理解・共通行動を徹底し、さらなる学力向上に取り組む。年度初めに、より計画的な取組を提示し、見通しをもった活動を行えるようにしていく。
- ・平均在校時間を削減することはできたが、業務量の多さは変わらないので、業務量の軽減や分担をしていく必要がある。
- ・教職員事故防止を徹底するため、毎月の倫理確立委員会を計画的、継続的に実施する。実施形態をワークショップ型にし、それぞれが自分の事として考える時間を設定する。
- ・ハンカチやティッシュペーパーの準備等、児童が主体的に衛生面を考慮し、学校全体で継続的に感染症拡大防止に努める。
- ・幼保小中を一貫した教育の取組を継続させ、松江中学校区研究発表に向けて、さらに取組に向けての関係を強化する。